

中国企業減少するも存在感

国際

表1 2022年度世界食品小売売上高ランキング

順位	企業名	国・地域	売上高		純利益(税引後)	
			金額	前年比	金額	前年比
1	ウォルマート	USA	611,289	6.7	11,680	▲14.6
2	アマゾン	USA	513,983	9.4	▲2,722	nc
3	CVSヘルス	USA	322,467	10.4	4,149	▲47.5
4	コストコ	USA	226,954	15.8	5,844	16.7
5	シュワルツグループ*	GER	164,883	15.3	na	na
6	京東商城(ID.com)	CHN	151,690	9.9	1,407	nc
7	クロガー	USA	148,258	7.5	2,224	35.7
8	ウォルグリーン・アーツ・アライアンス	USA	132,703	0.2	4,337	18.5
9	アリババ	CHN	126,491	1.8	10,558	17
10	アルディ*	GER	118,339	14.0	na	na
11	ターゲット	USA	109,120	3.0	2,780	▲60.0
12	アホーランド・アレックス	HOL	93,070	15.1	2,724	13.3
13	レーヴェルグループ*	GER	90,734	10.4	na	na
14	セブン&アイ・ホールディングス*	JPN	90,183	35.0	2,145	33.3
15	カルフル	FRA	87,080	15.5	1,675	20.3
16	テスコ	UK	79,374	7.2	910	▲50.4
17	アルパトソンズ	USA	77,650	8.0	1,514	▲6.6
18	エデカグループ*	GER	70,832	5.6	na	na
19	アリマント・ジョン・ハク・シュター	CND	70,777	21.2	3,044	22.1
20	イオン	JPN	69,610	4.6	163	228.7
21	レナール*	FRA	59,490	16.3	na	na
22	アンデルマルシェ*	FRA	58,206	7.6	na	na
23	パブリックス	USA	54,942	13.5	4,165	▲5.4
24	スーパー(世界)*	HOL	44,032	3.3	na	na
25	ローソン	CND	41,854	6.3	1,422	2.4
26	ウールワース	ASL	41,433	9.2	1,053	▲3.7
27	トセインズベリー	UK	38,009	5.3	249	▲69.5
28	グラブ・ジュ・ネラル	USA	37,845	10.6	2,416	0.7
29	コープス	SWS	37,007	7.3	608	0.5
30	HE.パット*	USA	36,800	na	na	nc
31	カジノ	FRA	36,383	9.5	▲304	nc
32	オーシャン*	FRA	35,828	7.7	44	nc
33	X5リテールグループ	RUS	35,344	18.2	613	5.7
34	リライアンス・リテール	IND	33,000	26.7	1,100	8.2
35	ミグロス*	SWS	32,606	4.1	496	▲31.3
36	マクドナルド	RUS	31,908	26.6	378	▲41.9
37	メトロ	GER	31,836	20.1	▲357	nc
38	メルカド・ナ	SPN	30,477	11.5	729	5.6
39	ダラウリー	USA	28,318	7.6	1,615	21.7
40	ジェロニモ・マーチンズ	POR	27,177	21.5	631	17
41	コープス・グループ	ASL	27,063	2.0	781	4.3
42	システムU*	FRA	25,551	4.0	na	na
43	ウェスファーマーズ	ASL	25,083	8.5	106	▲1.2
44	ライト・エイド	USA	24,568	2.2	▲538	nc
45	CPオールド	THA	24,031	46.7	362	4.2
46	ファミリーマート*	JPN	22,581	4.1	236	▲67.7
47	A.S.ワトソン*	HK	22,500	▲23.0	na	na
48	エンバイ	CND	22,492	1.1	583	10.6
49	ウイリアム・ソリックス・スーパーマーケット	UK	22,304	37.1	184	62.7
50	マイヤー*	USA	21,180	5.6	na	na
51	コナド*	ITA	19,783	15.8	na	na
52	グルッポ・セレスクス*	ITA	19,473	7.7	na	na
53	BJ'sホールセールクラブ	USA	19,315	15.9	514	20.5
54	IGA*	USA	19,000	na	na	na
55	併多(ビンドウウォウ)	CHN	18,929	42.0	4,572	306
56	ウェイクフーン	USA	18,408	9.5	570	21.3
57	セックス	CHI	17,845	29.3	399	▲28.2
58	ローソン	JPN	17,557	4.0	226	31.3
59	コープス	ITA	15,300	▲0.7	na	na
60	エル・コンテ・イン・グレス*	SPN	15,052	17.3	951	623.9
61	ウェグマンズ・フードマーケット	USA	14,617	55.5	1,980	486.5
62	dmドラッグ・エ・マルクト*	GER	14,530	10.7	na	na
63	ファラベラ	CHI	14,467	6.9	106	▲86.2
64	マークス&スペンサー	UK	14,400	9.6	440	17.8
65	永輝超市	CHN	14,222	▲8.7	na	na
66	メトロ	CND	13,991	3.3	626	2.8
67	パルパフィカ・イ・カ・ナ・ホ・ル・デ・イン・グレス	JPN	13,982	7.2	472	15.2
68	コーペラティブグループ*	UK	13,856	3.0	293	659.4
69	メナード*	USA	13,380	1.8	na	na
70	康成投資	CHN	13,354	▲15.5	na	na
71	シムロウ	MEX	13,312	37.5	307	75.3
72	ICAグループ*	SWD	13,101	7.1	431	▲1.2
73	ケスコ*	FIN	12,643	4.4	872	5.2
74	ハイヴァー*	USA	12,440	3.5	na	na
75	ロッテショッピング	KOR	12,282	▲0.7	▲45	nc
76	ショップライト・ホールディングス	SAF	11,108	9.7	288	18.1
77	ジャイアント・ホール*	USA	10,550	1.2	na	na
78	フルジュ・グループ*	NOR	10,485	▲0.4	291	▲27.5
79	華潤万家*	CHN	10,049	▲18.3	na	na
80	ウイニング*	USA	9,850	10.4	na	na
81	サリダグループ	DEN	9,571	0.5	94	▲52.3
82	ファミサ	MEX	9,568	23.0	453	▲12.5
83	ジャンボスーパーマーケット	HOL	9,507	1.3	108	▲16.2
84	グロブス*	GER	9,437	13.7	na	na
85	エッセルランド*	ITA	9,415	3.2	na	na
86	フェレレ・テッド・コーペラティブ	CND	9,271	38.0	304	▲17.0
87	DFIリテールグループ	HK	9,174	▲0.2	114	13.7
88	SOKコーポレーション	FIN	9,047	8.2	4	nc
89	コルイト*	BLG	9,020	3.2	na	na
90	物産科技術*	CHN	8,984	▲11.2	na	na
91	テンゲルマン*	GER	8,971	0.8	na	na
92	ルイ・ドレーズ*	BLG	8,910	na	na	na
93	聯華超市*	CHN	8,342	▲4.9	na	na
94	ディア*	SPN	7,810	9.6	na	na
95	ツルホールディングス*	JPN	7,406	5.9	19	18.1
96	マツキヨココカラ&カンパニー	JPN	7,263	30.3	309	17.9
97	コープデンマーク	DEN	6,748	2.5	▲90	nc
98	レント	RUS	6,562	9.4	169	▲24.6
99	居然之家*	CHN	6,240	34.6	na	na
100	ピクンベ	SAF	6,416	8.4	68	▲3.6

注：売上高は売上高の過半数を小売が占める各国企業の連結決算ベースの売上高を2022年12月30日現在の換算率で米ドルに換算したもの
記号：*＝推定 *＝非上場企業 ※＝フランチャイズ/ボランタリーチェーン (店名が統一されているもののみ、売上高は小売ベース) ▲＝マイナス na＝不明 nc＝当期または前期が赤字などのため算出不能
国・地域略：USA＝米国 HLD＝オランダ FRA＝フランス GER＝ドイツ UK＝英国 JPN＝日本 BLG＝ベルギー CND＝カナダ ASL＝オーストラリア SWD＝スウェーデン SPN＝スペイン ITA＝イタリア SWS＝スイス FIN＝フィンランド HK＝香港 KOR＝韓国 CHN＝中国 IND＝インド CHI＝チリ POR＝ポルトガル RUS＝ロシア THA＝タイ
中華全国商業情報センター 編集：国際流通研究所

登場する企業数が多い順に国・地域を配列し、そのうち、登場する国・地域は6大陸の26の国・地域に及んでいる。欧州は14カ国と抜群に多く、アジアが6の国・地域、北米が2の国・地域、中東・アフリカが1の国・地域、オセアニアが1カ国だ。

表2 22年度世界食品小売売上高国・地域別企業数

国・地域	50位以上		50位未満		合計	
	22年	21年	22年	21年	22年	21年
米国	14	14	8	10	22	24
中国	2	3	7	10	9	13
ドイツ	5	5	3	3	8	8
日本	3	5	4	3	7	8
フランス	6	6	6	6	6	6
英国	3	3	2	3	5	6
カナダ	3	3	2	1	5	4
イタリア	1	1	4	2	4	3
オランダ	2	2	1	1	3	3
オーストラリア	3	3	3	3	3	3
スペイン	1	1	2	2	3	3
ロシア	2	1	1	1	3	2
スイス	2	2	2	2	2	2
香港	1	1	1	1	2	2
チリ			2	2	2	2
南アフリカ			2	2	2	2
フィンランド			2	1	2	1
ベルギー			2	1	2	1
デンマーク			2	1	2	1
メキシコ			2	1	2	1
インド	1				1	
ポルトガル	1	1			1	1
タイ	1			1	1	1
スウェーデン			1	2	1	2
韓国			1	1	1	1
ノルウェー			1	1	1	1
合計	50	50	50	100	100	100

注：国・地域は企業数の多い順に配列し、出所：表1 編：国際流通研究所

巨大な小売業を擁する9カ国。表3を見ると、売上高が400億以上の企業は、米、中、日、英、仏、独、伊、韓、露の9カ国に集中している。このうち、売上高が1000億以上の企業は、米、中、日、英、仏の5カ国に集中している。また、売上高が100億以上の企業は、米、中、日、英、仏、独、伊、韓、露の9カ国に集中している。

併多とクロガー大幅伸長。併多は2022年度の売上高が189.29億元と前年比42.0%増の伸びを示した。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。併多は、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業増えて減収企業減少。増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

表1に示されている通り、増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

企業数で群抜く米国トップに。米国は22年度の食品小売売上高ランキングで1位を維持し、企業数でもトップに群を抜いた。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

巨大な小売業を擁する9カ国。表3を見ると、売上高が400億以上の企業は、米、中、日、英、仏、独、伊、韓、露の9カ国に集中している。このうち、売上高が1000億以上の企業は、米、中、日、英、仏の5カ国に集中している。

併多とクロガー大幅伸長。併多は2022年度の売上高が189.29億元と前年比42.0%増の伸びを示した。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業増えて減収企業減少。増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

表1に示されている通り、増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

2022年度の食品小売売上高ランキング1000(表1)がまとまった。この売上高ランキングに入る水準は、前年度より4億1600万、高い6億1600万(約8340億円)となった。日本企業では、7社がこの水準をクリアしている。一方、前年度に企業数が大幅に増加した中国企業の勢いは、ここでも顕著で、前年度より4社減の9社となった。だが、これでも企業数は米圏に次いで2番手となっている。

企業数で群抜く米国トップに。米国は22年度の食品小売売上高ランキングで1位を維持し、企業数でもトップに群を抜いた。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

巨大な小売業を擁する9カ国。表3を見ると、売上高が400億以上の企業は、米、中、日、英、仏、独、伊、韓、露の9カ国に集中している。このうち、売上高が1000億以上の企業は、米、中、日、英、仏の5カ国に集中している。

併多とクロガー大幅伸長。併多は2022年度の売上高が189.29億元と前年比42.0%増の伸びを示した。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業増えて減収企業減少。増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

表1に示されている通り、増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。

増収企業は前年比11社増の27社となった。減収企業は前年比10社減の10社となった。これは、中国国内のインフレ抑制策による消費の回復、および海外市場での販売拡大によるものである。



ドイツ・シュワルツグループが米圏で展開するリドル

2022年度世界食品小売売上高ランキング1000

業績好調の企業増加 ネット販売に勢いも

表4 2022年度世界大型食品小売業子会社売上高ランキング50

Table with 7 columns: Rank, Year, Company Name, Country, Parent Company, Sales, Growth. Lists top 50 food retailers globally.

子会社の規模はアマゾン最大

トップグループに属する大型食品小売業は、巨大な子会社を世界に展開している。売上高の重層を避けるため、これらの子会社に、上位50社の売上高を分散させた。

ウオルマートが純利益額首位

2022年度の世界的食品小売業の純利益額は、ウオルマートが首位で、純利益額は1兆1,680億ドルに達した。

アリババ、規制受け利益率減

100社あるうち、売上の高い上位10社に集中している。アリババは、規制の影響で利益率が減少した。

時価総額で中国ネット勢上位

米国の経済誌フォーブスは毎年、世界の株式市場で同社の人気がいかに高いかを示している。中国企業の時価総額が急上昇している。

表5 22年度世界食品小売業純利益額トップ10

Table with 6 columns: Rank, Company Name, Country, Sales, Profit, Growth. Top 10 pure profit food retailers.

表6 22年度世界食品小売業純利益率トップ10

Table with 6 columns: Rank, Company Name, Country, Sales, Profit, Growth. Top 10 pure profit rate food retailers.

表7 世界食品小売業の発行株式時価総額ランキング(2023.3.31)

Table with 7 columns: Rank, Company Name, Country, Market Cap, Sales, Profit, Growth. Top 35 market cap food retailers.

注: 国・地域略: 表1と同じ na: 不明 業種略: 表5と同じ 但LDP=百貨店 出所: フォーブス2000 編: 国際流通研究所

注: 売上高=2022年12月30日現在の為替レートで米ドルに換算したもの 記号: ※=フランチャイズ/ボランタリーチェーン * =推定 ▲=マイナス na=不明 国・地域略: 表1と同じ 但BZL=ブラジル PLD=ポランド CZE=チェコ 出所: 各社Annual Report/決算書・ホームページ、China Chain Store & Franchise Association, Frankfurter Allgemeine Zeitung 編集: 国際流通研究所